

2007年4月24日

太平洋セメント株式会社
三菱マテリアル株式会社

ベトナム・ギソンセメント社の第二生産ライン起工式を挙行

太平洋セメント株式会社と三菱マテリアル株式会社が共同出資し、ベトナムセメント公社との合併会社であるギソンセメントコーポレーション(以下、ギソンセメント社)は、4月23日、タインホア省のギソンセメント社工場にて第二生産ラインの起工式を挙行しました。

ギソンセメント社はベトナムの経済発展に伴う旺盛なセメント需要の増大に応えるために、2005年5月に第二生産ラインの増設を決定しました。その後、工事着工へ向けて関係先と調整を進めてきましたが、準備が整ったことから、今回、起工式を執り行う運びとなりました。

今後、本格的に第二生産ライン増設工事を進め、2009年秋に営業運転を開始する予定です。今回の増設計画は第一生産ラインとほぼ同等の220万トン/年のセメント生産能力増強となります。同時にセメントの主原料である石灰石鉱山の拡張開発、セメントタンカーの建造も行う他、既設のホーチミンターミナルに加え、中部地区にもセメントターミナルを新設し、ベトナム全土をカバーする販売網を構築します。また、セメント工場が少なく、今後ともセメント不足が見込まれるホーチミン市を中心とする南部マーケットでの拡販を進めます。

今回の第二生産ライン増設の投資予定額は投資ライセンスと同額の約240百万米ドルで、第一生産ラインと合わせた本事業は、引き続き同国における日本からの最大投資事業となります。第二生産ライン完成後ギソンセメント社は同国における最大のセメント製造会社になり、売上高、利益とも現状の2倍以上の業績を見込んでいます。

<ギソン・セメント社の概要>

社名	Nghi Son Cement Corporation
本社／工場	ベトナム社会主義共和国 タインホア省ギソン地区 (ハノイ市から南へ約200kmの沿岸部)
資本金	1億810万米ドル (約130億円 US\$1=120円)
出資比率	ベトナムセメント公社(VNCC)35%、エヌエムセメント(日本側投資会社)65%[内太平洋セメント70%、三菱マテリアル30%]
代表者	社長 森 紀雄
従業員数	約450名
セメント生産能力	215万トン／年
セメントターミナル	ホーチミン市、1万7千トンサイロ×2基
支店	ハノイ市、ホーチミン市

<設備投資概要>

第二生産ライン	セメント生産能力 220万トン／年 (第一生産ラインに並列して増設)
石灰石鉱山拡張	新鉱床開発
セメントタンカー	1万5千トンセメント専用船新造
中部セメントターミナル	カインホア省ニャチャン市近郊 1万5千トンサイロ×1基

<ギソンセメント社の位置図>



<添付資料>



第二生産ライン起工式(4月23日実施)



ベトナム・ギソンセメント社工場

以上